

議会だより

かみやま

第 26 号

2015. 8. 14

6 月定例会

神山で新鮮な魚が

食べられます！

毎週木曜日に道の駅で

魚を販売しています。



7月23日から道の駅「魚の日」スタート

6月定例会は、平成27年6月22日から26日まで5日間の会期で開催した。提出議案は、26年度補正予算ほか専決7件、27年度補正予算5件、規約の変更1件、請負契約1件、人事案件2件など16議案を審議し、すべて承認、可決、同意した。

一般質問では7議員が登壇し（7～13ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成27年6月定例会議案事項	掲載頁
第1日	専決事項の説明と審議について 【上程・審議・承認】 一般会計・特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療） 工事変更請負契約（神山町学校給食センター建替工事） 税条例等・国民健康保険税条例・介護保険条例の一部改正	4 - 6 頁
	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合理約の変更について 【上程・審議・可決】	
	人事議案 【上程・同意】 固定資産評価審査委員会委員の選任	
	平成27年度一般会計補正予算（第1号）について 【上程・審議保留】 平成27年度特別会計補正予算（第1号）について 【上程・審議保留】	
第2日	視 察 勝 浦 町 「よってね市」 農村体験宿泊施設 「ふれあいの里さかもと」	14頁
第3日	一般質問 西崎哲夫議員 細井成富議員 榎本雄一議員 高橋和男副議長 木元史幸議員 森本吉治議員 坂口一之議員	7 - 13頁
第4日	休 会	
第5日	第1日保留議案の審議 【審議・可決】 平成27年度一般会計補正予算（第1号）について 【審議・可決】 平成27年度特別会計補正予算（第1号）について 【審議・可決】	4 - 6 頁
	人事議案 【上程・同意】 教育長の任命 徳島県後期高齢者医療広域連合議員の推薦	
	その他 【上程・決定】 議員派遣・委員会の閉会中の継続調査について	

※第4日は議事日程の都合により休会とした。

所信表明



地方創生が叫ばれている中、本町では高齢化、少子化、人口減少が続いており、神山町・まち・ひと・しごと総合戦略の策定を急がねばならない。

写真：水遊びを楽しむ広野保育所の園児

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律
 社会保障、税などの分野で効率的に情報管理を行うため、10月から番号の周知がはじまり、平成28年1月から運用が、開始される予定である。

平成26年度出納閉鎖について
 一般会計、歳入総額51億3,604万4,452円に対し、歳出総額49億3,892万340円となり、実質収支額が1億5,499万1112円の黒字となった。

ふるさと納税について

いままで総務課がお返しの商品などの発送をしていたが、NPO法人里山みらいに委託し、募集や継続についての案内、お返し品の発送を依頼し、いままで以上にふるさと納税が増えるよう努力したい。

中学校統合について

平成21年少子化に伴う神山町の学校教育検討委員会において小学校2校、中学校1校という答申がなされたが、学校の耐震工事が行なわれたりということですが統合というに至っていません。しかし、生徒の減少により平成28年4月からの統合に向けて準備を進めてゆきたい。

国、県道の工事箇所

〔国道〕

○道路改築事業

国道438号上分地区 5億円

○緊急地方道路整備事業

国道193号、上分地区他橋梁

補修工事 1,400万円

国道438号上分地区他

舗装、補修 2,400万円

〔県道〕

齒ノ辻、北馬喰草間現道拡幅

2,000万円

阿野長代現道拡幅

2,000万円

地ノ平二ノ宮間現道拡幅工事

2,000万円

阿野橋整備

1億1,200万円

○道路局部改良事業

石井神山線齒ノ辻地区

現道拡幅 200万円

神山鮎喰線鬼籠野広野間

現道拡幅 1,000万円

鬼籠野国府線一ノ坂

現道拡幅 500万円

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結

平成27年度補正予算

一般会計（第1号）	補正額	1億4073万円（43億2273万円）
国民健康保険特別会計（第1号）	補正額	6246万円（10億9032万円）
簡易水道事業特別会計（第1号）	補正額	457万円（1億7302万円）
介護保険特別会計（第1号）	補正額	1269万円（10億5777万円）
後期高齢者医療特別会計（第1号）	補正額	17万円（1億2205万円）
予算合計	補正額	2億2062万円（67億6589万円）

平成26年度専決補正予算

一般会計（第10号）	補正額	1億2771万円（51億5923万円）
国民健康保険特別会計（第5号）	補正額	5346万円（10億9153万円）
介護保険特別会計（第5号）	補正額	△5732万円（9億9420万円）
後期高齢者医療特別会計（第4号）	補正額	△525万円（1億1855万円）
予算合計	補正額	1億1860万円（73億6351万円）

（ ）は予算総額

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結の主な内容		
総務課	平成27年度一般会計補正予算（第1号）	
	・ふるさと納税業務委託料	130万円
	・コミュニティ助成事業補助金	230万円
	・ヘリポート修繕工事（江田）	200万円
	・緊急避難場所設置備品購入費（役場本庁、上分公民館）	378万円
	平成26年度一般会計補正予算（第10号）（専決）	
	・財政調整基金積立金	2億3110万円
	・神山温泉基金積立金	133万円

	・徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合同規約の変更について	
改正内容 徳島県市町村総合事務組合を組織する板野郡西部学校給食組合が解散したため、徳島県市町村総合事務組合同規約の一部改正する。		

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結の主な内容	
税 務 保 険 課	平成27年度国民健康保健特別会計補正予算（第1号）
	・一般被保険者療養給付費 2246万円
	・一般被保険者高額療養費 1000万円
	・財政調整基金積立金 3000万円
税 務 保 険 課	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）（専決）
	・一般被保険者療養給付費 7756万円
	・退職被保険者等療養給付費 △1150万円
	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）（専決）
税 務 保 険 課	・後期高齢者医療広域連合納付金 △525万円
	・ 神山町税条例等の一部を改正する条例 改正内容 国による地方税法の改正による一部改正
	・ 神山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 改正内容 課税限度額の引き上げ 81万から85万 等
	・ 神山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 改正内容 課税限度額の引き上げ 81万から85万 等
健 康 福 祉 課	平成27年度一般会計補正予算（第1号）
	・ 臨時福祉給付費補助金償還金 358万円
	平成27年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
	・ 介護給付費準備基金積立金 738万円
	・ 国庫支出金等過年度分返還金等 492万円
	・ 介護予防サービス事業基金積立金 24万円
	平成26年度一般会計補正予算（第10号）（専決）
	・ 障害者自立支援介護給付費 △2100万円
	・ 臨時福祉給付費補助金 △1500万円
	・ 老人保護施設措置費 △630万円
健 康 福 祉 課	平成26年度介護保険特別会計補正予算（第5号）（専決）
	・ 居宅介護サービス給付費 △1178万円
	・ 施設介護サービス給付費 △3246万円
	・ 神山町介護保険条例の一部を改正する条例 改正内容 第一号被保険者についての保険料の減額賦課に係わる平成27年度から平成29年度までの各年度における保険料率を25,300円とする。

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結の主な内容											
産業 観光 課	平成27年度一般会計補正予算（第1号） ・青年就農給付金（5件） 525万円										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※青年就農給付金制度について この制度は、町内での新規就農者及び経営継承者を支援する制度です。 年齢要件：45歳未満 給付金額：年間最大150万円、最長5年間 要件により制限があるので、詳しくは 役場産業観光課 TEL676-1118まで。</p> </div>										
建 設 課	平成27年度一般会計補正予算（第1号） ・住宅リフォーム支援事業補助金 △100万円										
	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） ・修繕料（水道設備修繕費用） 207万円 ・消費税 250万円										
教育 委員 会	平成27年度一般会計補正予算（第1号） ・小学校屋上防水工事追加（旧阿川小・旧下分小） 280万円 ・小学校体育館屋根改修工事追加（旧左右内小） 430万円 ・理科教育設備備品（神領小・広野小） 170万円 ・中学校屋内消火栓修繕工事（神山中学校） 100万円										
	平成27年度神山町学校給食センター建替工事請負契約の締結について 契約内容 工 事 名 平成27年度神山町学校給食センター建替工事 工 事 個 所 神山町神領字西上角（神山中学校敷地） 契 約 金 額 251,424,000円 契 約 の 方 法 指名競争入札による契約 契 約 の 相 手 方 株式会社 岡田組										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>給食センター概要</p> <table> <tr> <td>構 造</td> <td>鉄筋コンクリート造り 平屋建て</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>388.02平方メートル</td> </tr> <tr> <td>仕 様</td> <td>オール電化、ドライシステム方式</td> </tr> <tr> <td>調理食数</td> <td>給食250食／日</td> </tr> <tr> <td>稼働時期</td> <td>平成28年4月から調理開始</td> </tr> </table> </div>	構 造	鉄筋コンクリート造り 平屋建て	延床面積	388.02平方メートル	仕 様	オール電化、ドライシステム方式	調理食数	給食250食／日	稼働時期	平成28年4月から調理開始
構 造	鉄筋コンクリート造り 平屋建て										
延床面積	388.02平方メートル										
仕 様	オール電化、ドライシステム方式										
調理食数	給食250食／日										
稼働時期	平成28年4月から調理開始										

一般質問



西崎哲夫 議員

質問①

道交法の一部改正により、自転車への罰則が強化された。町内中学生70名の内50名が自転車通学であるが、小中学校の交通安全教育をどの様にしてきたのか。

また、今回の改正によって、どのような学校交通安全教育を展開するのか。

また、事故を起こした時の損害賠償は自動車と全く変わらなそうである。賠償額も全国で一億円前後の事例もたくさんある。

兵庫県は今年3月自転車保険の加入を義務づける条例を制定したとのこと。

- ① 道交法の改正による、生徒の自転車使用について
- ② 移住者家庭や、高校進学家庭の下宿通学の対応について
- ③ 空き家対策について

また、埼玉県杉戸町では小中学生の自転車保険加入を町負担で加入しているとのことである。本町もこうしたことの対応は出来ないか。

答弁（教育長）

学校における交通安全教育については、全校生徒、学級会活動を含めて、小学校では年間6回、中学校では、神山東中4回、神山中5回実施している。改正後は自転車の危険行為のパンフレットを各学校に配布した。県教委から県下一斉に法改正後の交通安全指導ということで校長に通知した。自転車保険については、毎年4月に任意加入というところで、加入してはどうですかと保護者に通知している。

質問②

移住者家庭の小中学生が増えている。町内の高校進学について。

町内に普通科高校がないため、徳島市内周辺高校への下宿通学をせざるをえない保護者の教育費の軽減と教育環境の不利を少しでも解決すべく、徳島市内に町営の神山寮（仮称）を設置しては。

答弁（町長）

現在、県の徳島寮があり、神山から15名が入寮している。その他ほとんどの方が町外で下宿、アパートを借りているようである。本町の道路改良整備が進み、自宅通学の可能性が増してきた。また、通学費の助成についても施策を展開している。

質問③

高校生が町外に出て行くと、町の消費や多様な分野に影響があると思うので、高校生くらいまでは本町から通学してもらえ、施策展開をしていくので、町営の寮の設置は考えていない。

5月26日空き家対策特別措置法が全面施行された。本町の空き家対策は現行のままなのか、それとも変化した展開はあるのか。もし、撤去行政代執行までも、代執行費の回収不能のリスクもあると考えられるが。

答弁（町長）

間違いなく、この法によって一歩前進したことは確かである。代執行については、適用要件も多く本町で該当する案件は少ないと考える。しかし、更地にしなくても指導勧告に従わない場合、固定資産税が6倍になるとの事等を、所有権者に知らせることにより、修繕なり解体撤去を促す努力を進めていかなくてはと考えている。

一般質問

細井成富 議員



① 中学校の統合問題について

致で統合するということ、意見がまとまった。

議員には五月十八日の臨時の全員協議会で協議をして頂いた。その後、町PTA連合会の総会、広野保育所、広野小学校、神山東中学校の保護者会、広野、阿川、鬼籠野地区の住民に説明会を行った。

情報公開については、教育委員会も総合教育会議も傍聴できる。地方教育行政法の改正を受けて、この四月からは議事録の公表もしている。

平成二十七年六月一日付け、「中学校統合についての説明会の開催について(ご案内)」というところで、文中に「平成二十八年度から統合することになりました。」と書いてあった。こ

の一文が余りにも唐突で、多くの関係住民の方に不信感を抱かせた。統合について議員は関与できないのか。

基本的には総合教育会議で決定する。

説明会の開催が十八日ということ、時間が限られ慌てて失礼な文章になったと思う。

中学校統合となれば、神山東か神山東中か、どちらの学校を使うのか。

スクールバスを充分に活用した上で、神山中へ統合したい。

神山中学校を使うのであれば神山東中学校の生徒は遠距離通学となるので、不便がないよう

に、十分な配慮を要請する。具体的な方策があれば、示して頂きたい。また、中学校統合後の将来像があれば、説明して頂きたい。

スクールバスをフルに活用して、例えば夏・冬休みの部活動に活用して、生徒や保護者に負担をかけないように、配慮したいと思う。私の思いとしては、義務教育では、小中一貫校、それが現状を考えたら一番良いシステムと思っている。

質問

中学校統合計画の中で地域住民や関係者、議会にどのような情報公開をして、理解が得られるよう努力をしたか。

答弁(教育長)

中学校の統合については、平成二十一年六月に検討したが、設置場所が決まらなかった。

昨年度あたりから、広野地区の保護者からも早く統合してほしいという意見が、聞かれるようになった。今年二月の定例教育委員会で検討し、平成二十八年度から統合することに決定した。五月十一日の町長をトップとする総合教育会議において教育委員会から提案をし、全員一



神山東中学校校舎

一般質問



榎本雄一 議員

質問
神山町は人口が減少しつつも、移住交流支援センターやサテライトオフィスを通じて県内でも若者が比較的多く移住をしている町である。

しかしながら、こうした取り組みだけでは人口の減少に歯止めがかからないといった状態である。

安倍政権は高齢者の地方移住ということ、東京一極集中の是正にむけた地方創生の柱に掲げている。日本創生会議も東京圏の高齢者が急増するというところで、全国の施設や人材に余裕がある地域に、高齢者の移住を促すよう提言している。県もこ

①人口増対策に高齢者施設を

町の西部地区に誘致しては

うした動きを歓迎をしている。

こうした情勢の折、神山町では若者の移住促進は、今まで以上に進めなければならぬが、一方元気な高齢者にもターゲットをおき、神山町に移住し水や空気がきれいな自然豊かな神山町で余生を送ってもらおう高齢者施設を、地方創生交付金を活用し、誘致しては。

もしこのような施設ができる
と福祉医療介護分野の職に就く
若者もあり、雇用拡大、食料の
供給など地域経済の活性化にも
つながり、関連して移住者も増
え、最終的には人口増にもつな
がるのではないか。

答弁 (町長)

V S 東京ということで関西広域連合、東京都榊添知事等々の会議の中でも飯泉知事本人もこ

の案を提案をしている。地方創生会議あるいは石破大臣も来県された時もこの話をされていた。元気な高齢者を地方にという一つのアイデアはおもしろいと思う。

若者の有資格者の確保が見込まれるならば雇用の場とともに若者定住、高齢者も地方交付税にもカウントされるので非常にいい効果をもたらす。

しかし、一方、これが介護保険適用の施設であるとするとならば介護保険料が上がってくるということにもなりかねないことから、住所地特例といわれる、例えば東京の高齢者が、神山町の施設へ入所した場合、前の住所地でのサービスの負担をお願いするという特例の範囲を拡大していただければ、保険

料の増額を抑えることはできないという問題もある。

マンパワーの確保、雇用の場と共に介護保険料を抑えるような住所地特例の適用の拡大を国に、お願いするという見通しがたたなければ、一概に、最良の一つの人口増、福祉の施設の不足を補うということには成りえないのではないか。



神山町下分 丹生連峰を望む

一般質問



高橋和男 副議長

① 神山温泉進入路について

45年に神山町の養護老人ホームの建設のために町が用地を買収した。その際に、1筆だけ残ったままとなっており、その土地が公図上は存在している。

用地買収を行った際に公図上の地権者への確認が取れておらず、登記漏れが生じたもので現在まで筆界未定地となっている。

該当する土地については公図の位置では現在、高齢者生産活動センター側に位置している。昭和45年当時、用地交渉した際に多分、水路またはあぜ道というようなことで、あるいは地権者の内の一人の方の耕作地であったのではないかと推測されるが、専門家の方から公図上の位置に間違いがあるのではないかとのご指摘があった。

現在、地権者の方と協議を進

めているが、地権者の方には協力的で、ご理解をいただいている。この進入路の整備については、大変重要な事項と考えており、交通安全上の観点からも現在のままでは良くないし、最近大型バス、普通車等々が普通にすれ違えるような、安全な道路改良整備を進めたいと考えている。

今後の対応について、どうするのかということだが、この筆界未定地の登記漏れについては地権者の方に今日まで大変なご心労とご迷惑をおかけしましたことに深くお詫び申し上げます。

神山温泉への進入路、並びに町道北上角線の改良については、出来るだけ早い時期に地権者の方と協議を進めたいと思っております。登記事務を完了し、工事に

着手をしたいと考えています。

質問

現在、神山温泉は、支配人や従業員が営業努力をしております、お四国さんや大手企業の方を乗せた大型観光バスが頻繁に来場し、利用してもらっている。

進入路が狭くて大変ご不便をかけている。是非、地元地権者の方に協議をして、またお願いをして良い結果が出るようお願いしている。

質問

神山温泉への進入路について、道路幅が狭くて不便であり、旧老人ホーム跡地について筆界未定地があると聞いていますが、地権者との協議は進んでいるのか。

また、神山温泉への進入路について町としては、どのような計画を持っており、今後どのように進めていくのか。

答弁（町長）

現在、神山温泉の進入路、旧老人ホームの跡地が非常に狭いことから利用者の皆様方に大変ご不便をかけている。早く、改善をしなければならぬと考えている。

筆界未定地については、昭和



神山温泉への進入路

一般質問



木元史幸 議員

質問①

0歳から5歳児の約百名が、下分・広野保育所に入所している。世帯数で74世帯になるが、保育料の軽減をどのように考えているか。

答弁（町長）

保育料の軽減は、人口減少をくい止めるための重要施策である。神山町の保育料の水準は国の基準の60%である。現在神山町は第二子まで無料であり、県下でも非常に安い方でないかと思っている。

今後は地方創生の観点から、若い世代獲得のため、第一子の保育料の軽減、無料化について考えていく。

- ① 保育料の軽減について
- ② 学童保育について
- ③ 給食費の無料化、軽減について
- ④ 奨学金制度について

質問②

内閣府のアンケートによると子どもを持つお母さん方の就業率が75〜80%である。仕事と子供の環境作りの支援策が求められている。現在約70名の児童が学童保育を利用しているが、子育て支援のため、利用料を軽減してはどうか。

答弁（町長）

国においても女性の能力を今後生かして行こうという観点の中、保護者の方々の年齢構成も30歳〜40歳で就業率も高いということからすると、子育て支援環境の一つとして、学童保育の支援が非常に重要になるかと思う。

神山町は対象人数が少ないので、限りなく先取りして展開していこうと考えている。

質問③

現在、神山町の学校給食費が、一食あたり小学生が310円、中学生が340円、内30円をそれぞれ町が助成している。年間の給食回数が一人あたり約190食となる。さらなる助成または無料化を考えてはどうか。

答弁（町長）

特殊出生率をまず1・8に持つていこうとする国の考えから、多子家庭への助成、給食費そのものへの補助を検討する。

質問④

社会情勢の変化により、奨学金の借入れ、そして返済が厳しさを増しているように思われる。町長のマニフェストにある、ふるさと定住促進奨学金の新設について詳しく聞きたい。

答弁（町長）

若い人に住んでもらうために、高校、専門学校、大学を卒業して3年以内に定住していたら、奨学金返金を免除するかなり踏み込んだ制度と言える。



学童保育（広野）

一般質問



森本吉治 議員

質問①

平成16年より子育て支援として県内ではじめて第2子より無償実施してから10年が過ぎ去ったが、本来町内での保護者のための制度で発足したはずが、地域の小学校に入らず他町の小学校に入学した子供がいる。どれくらいの人数であったか、今後そうした事への対処法は。

答弁（健康福祉課長）

11年間の中で第二子無償化制度を利用した人で町外の学校へ入学した子供は、下分保育所では0人。広野保育所では115名のうち14名が転出した。また神領小学校へ入学した人が11名いた。

①保育料第二子の無償化を始めてからの検証について ②県道の安全対策について

国の制度で現在は第2子は半額、第3子は無料とされ市町村ではこの基準以上のことを確保

するように求められている。なお今年度から子ども・子育て新制度により、町内から町外の仕事場の近くの施設に、子供をあずけて通勤することも、可能になった。逆に町外から保育希望者も受け入れることが、可能になった。こうしたことからこの保育所を利用してよいという制度に変わっている。

質問②

県道神山鮎喰線のうち、阿野南行者野地区、鬼籠野立見峠辺りのセンターラインが長期にわたり消えていたり、白嶽地区での雑草の繁茂も目立ち、歩行者や自転車通学生に危険が及んだり、道路の安全対策がな

おざりになっているが、県への要望をどうしているのか。

答弁（建設課長）

道路沿いの草刈については学校からの要望を教育委員会に出してもらい建設課より県に要望している。神領小学校、広野小学校から3件、神山中学校より1件、神山東中学校より6件を県に要望している。またその他、町民から、議員から、職員からと要望があれば小さなことでも県に報告している。すぐに対応してくれるものもあるが、時間がかかることもある。

答弁（町長）

この件については東部県土整備局、整備部の担当、知事に再三要望しているが県の財政状況が厳しい状況がうかがえる。石井神山線の阿川地区での支障木

のため観光バスが通行に支障をきたしており、これについても伐採の要望をしている。



町内の幹線道で白線が消えかかっている。安全確保の為にライン引きが急がれる。

写真…阿野字南行者野

一般質問



坂口一之 議員

質問

神山町がIT企業、サテライトオフィスの進出により、全国的に注目されているのは、行政やNPO法人グリーンバレー等の努力によるところが大である。今後とも優遇措置を一層充実して、特区的な集積モデル地区として、先進地として、町の活性化を図ることが重要であると思うが町の考え方は。

答弁（町長）

神山町はいろんな起業家が来ており、全国モデル地区として又、特区と表現してもおもしろいと思う。

起業家への手厚い助成等が、一歩全国から踏み出す為の重要

① IT企業等集積モデル地区(特区)について ② 道の駅拡張について

なポイントと思う。町として起業家支援の基金をつくり対応していく考えである。NPO法人里山みらいの種々の事業についても、目的に応じた対策を図っていく。国・県の地方創生の政策を活用し、財政支援等の充実に努める。

質問

道の駅によるお客は多いようであるが、売り場や駐車場が狭く拡張が必要であると思う。

通年出荷だけでなく、1〜2ヶ月だけ短期的な出荷もできるように、またゆつくり買い物を楽しんでもらうためにも、拡充することが必要と思うが町の考えは。

答弁（町長）

道の駅は多くの入り込み客の立ち寄る拠点であるが、売り場

も駐車場も非常に狭く、拡張が必要と思っている。

道の駅は防災拠点でもあり、今後ネットや口コミでが外国人を含めお客の増加が見込まれるので、現在の道の駅の増設、拡張は必要である。

また施設の増設により、多くの方の出荷ができる状態を創り出すことも可能と考えている。



7月1日に行われた「WEEK 神山」開所式（下分字地野）

視察研修①

勝浦町生鮮食品販売所等の視察に参加して

6月定例会第2日目に、勝浦町「よってね市」、農村体験宿泊施設「ふれあいの里さかもと」へ視察を実施した。近年、

田舎での高齢者の買物難民化が問題視されるようになってきた。神山町でも昔からの雑貨店、小売店、鮮魚販売店、衣類販売店などが次々と姿を消し、生活必需品の購入が困難な状況に陥っている。問題を解決し、快適な田舎暮らしを確保するため、神山町議会議員12名、監査委員、事務局長、計14名で視察訪問した。

●「よってね市」JA東とくしま 平成7年オープン、平成22年増改築現在の店舗へ、敷地面積800㎡売り場面積400㎡、一日平均来客数約千名、地域での生鮮野菜中心に昨年度は、売上高約3億7千万円にまで成長している直売所であった。オー

ブン当時は、会員数も少なく倉庫と間違われる店舗が、現在300名の会員、地域で競合する販売業者も会員となり、スムーズに販売できている。月1回のイベントも開催し、若者層の利用も増加中。

JA東とくしまは、「あいさい市場」「とれとれ市場」と合わせ3か所直売所があるが地域性を生かし特徴を持った経営をめざしているとのことであった。

●「ふれあいの里さかもと」坂本グリーンツーリズム運営委員会

始まりは小学校の廃校から。勝浦町の最も山あいの集落である坂本地区において、廃校を活用し都市と農村との交流等を行うグリーンツーリズム事業、農村施設「ふれあいの里さかもと」がスタートした。

平成11年3月に廃校となった、旧坂本小学校の校舎を町が改造、整備しその運営を平成13年7月に発足した地元住民等により「坂本グリーンツーリズム運営委員会」が独立採算を基本に担っている。

やっても大丈夫か？全てがゼ



大勢の客で賑わう
よってね市（勝浦町）

口からの出発で、地域内外に共感を与え、一時は地域を三分しかねない混乱も現在は、「今日もあかりが灯もっているだろうか」の応援の声に変わり、誰もが予測しなかったうれしい誤算から、数々の賞も受け、平成25年度、地域づくり総務大臣表彰（団体賞）受賞に至っている。

この事業が目指しているのは、表面的な農業農村体験ではなく、人の温かさや地域の風土、文化などを味わってもらうこと、そして、それらを地域ぐるみで展開することにより「地域の元氣」を創造し、さらには町内他地域へも「元氣」を波及させること、活動の拠点は「ふれあいの里さかもと」。「山から学ぶ自然の学校」と銘打ち、都会などから訪れる人々に多彩な農村体験のメニューを提供し、地産池消の田舎料理を味わっていただき、受け入れに当たっては、「おもてなしの心」で「人と人とのふれあい」を大切にしつつ、地元住民などがインスト

ラクターとなり、産業や自然、文化など当地ならではの資源を活かし、交流人口の増加に努めている。さらには町内6つの団体が連携した地域活性化の取り組みへと発展している。

平成26年度実績は、宿泊者数3300名、飲食者数8120名、体験者数426名、外研修者数613名、合計12459名利用。

神山町にも、各地廃校があり有効活用が囁かれている。又、道の駅、四季の里の販売所、更に町内各直売所も、この様な事例を活かし、地域に合う戦略を図り、今何ができるか、何をすべきか、具体策の検討が急務と思われる。(中西富士男)



ふれあいの里さかもと

視察研修②

勝名地域監査委員 視察研修に参加して

5月20日より3日間、勝名地域監査委員、事務局15名で沖縄県の中央部に位置する北谷町ちやたんちやうにおいて研修があった。

1、北谷町の概要
人口 28914人
面積 13・78km²
産業構造

第3次産業 75・64%
第2次産業 14・14%
その他 10・22%
予算額 27年度一般会計 149億8千万円

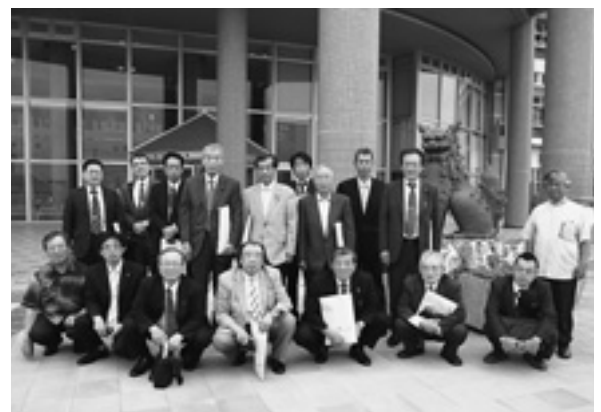
2、北谷町に占める米軍基地
嘉手納飛行場(3・64km²)、キャンプ桑江(0・67km²)、キャンプ瑞慶覧(2・57km²)、陸軍貯油施設(0・41km²)の米軍地軍基地があり、町に占める面積は52・9%(7・29km²)にも及んでいる。
基地に起因する航空機騒音、事件、事故の発生は住民に大きな不安を与えている。

北谷町としては、基地の整理縮小を促進し、その跡地利用によって平和で豊かな活力あるまちづくりを推進している。

3、観光振興
以前、沖縄経済は「基地・公共事業・観光」が産業の柱であったが、基地収益は日本復帰当時の3分の1に減り、公共事業も縮小するなか、観光が飛躍的に伸びている。

北谷町では米軍の返還と跡地利用促進(公有水面の埋立、住宅用地、商業用地、公園用地確保)による町づくりを最優先に取り組むことで、西海岸地域(バンビー、美浜地区)を中心に多くの人が賑わう活気あふれる町として発展している。

4、監査業務の現状
代表監査委員、議選監査委員、事務局より監査委員組織体制、年間の監査計画、監査方法での資料の様式、予算の執行状況表、また監査委員の技術向上強化のための研修の充実等の説明があり、意見交換を行った。



沖縄県北谷町を視察

5、北谷町の担当者の思い
43年前、誰もが望んだ祖国復帰が叶えられた。しかし今、私たち県民は本当に日本国民として、平和憲法のもとで加護されているのだろうか。

後を絶たない米軍人軍属による犯罪、強行配備されたオスプレイ、政府と対立している基地移転問題。切り捨てられたとしか言いようのない本土との距離。それでも私たちは諦めることなく、声を上げ続けなければなりません。次の世代のために…。

(橋本 稔)

知られざる神山の滝・その1（上分地区）

写真提供：麻空弘美さん（神山町神領）



おおとしの滝（江田）



源太郎滝（本根川）



魚止めの滝（奥屋敷）



いつぼの滝（江田）



出会い滝（大中尾）



氷生ヶ滝（中津）

編集後記

梅雨の最中にぎわった七夕が終わり、本格的な暑い夏が到来している。神山のシンボル鮎喰川には、多くの川遊びの人々の声が聞かれ、どこからか阿波踊りの鳴り物の音も時折耳にし、神山の夏を演出している。

先般、サテライトオフィス体験宿泊施設「WEEK神山」が、丹生におうの山々を望む下分字地野に開所し、神山の新たな名所として誕生した。飯泉知事を始め我々議員も招待を受け出席し、開所を祝いました。この施設が神山温泉とともに地域の活性化に一役かっただけのもの、大いに期待している。

6月定例会は、町長選挙後の議会でもあり、中学校の統合問題はじめ多くの課題について、一般質問があった。

（榎本雄一）